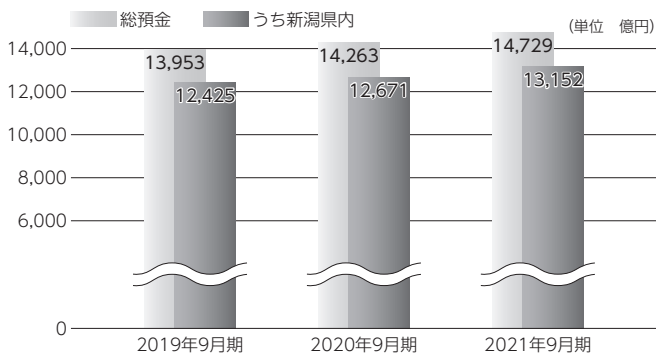


2021年度中間決算ダイジェスト (単体)

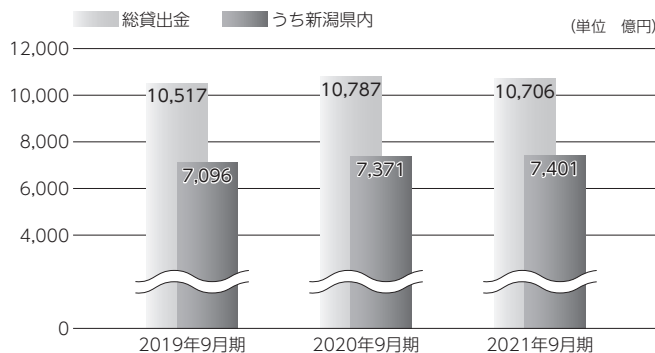
■ 預金残高



預金等残高(含む譲渡性預金)は、個人預金および法人預金の増加により前年同期比466億円増加の1兆4,729億円となりました。

新潟県内預金等残高は1兆3,152億円、県内預金比率89%です。

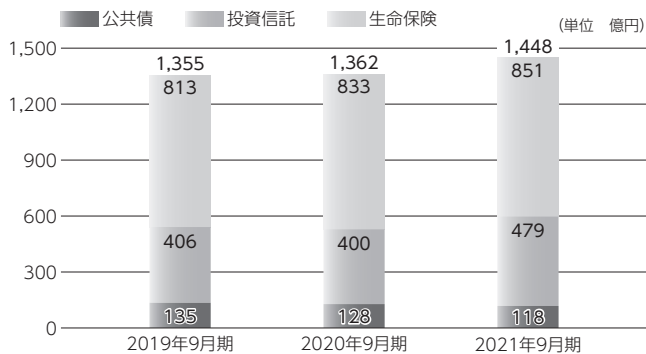
■ 貸出金残高



貸出金残高は、住宅ローンを中心に消費者ローンが増加したものの、新潟県外の事業所向け貸出が減少したことなどにより前年同期比81億円減少の1兆706億円となりました。

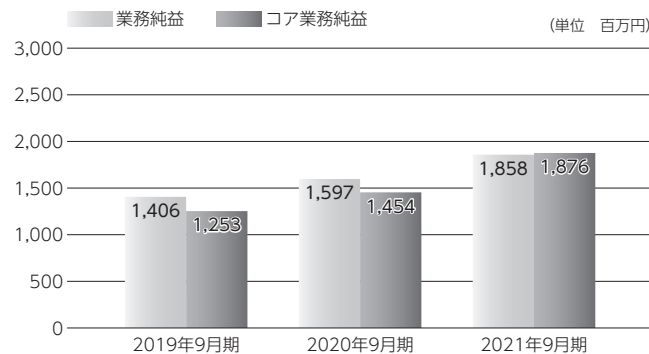
新潟県内貸出金残高は7,401億円、県内貸出金比率は69%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、マーケット環境に加え、マネーアドバイザーを中心とした営業態勢の整備が進み、投資信託および生命保険が増加したことにより、前年同期比86億円増加の1,448億円となりました。

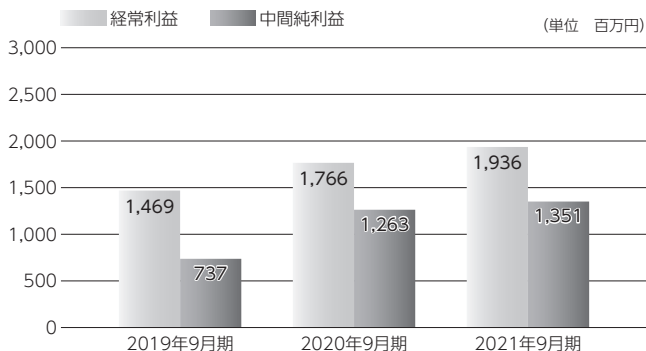
■ 業務純益・コア業務純益



コア業務純益は、役務取引等利益の増加や経費の減少などにより、前年同期比で4億22百万円増益の18億76百万円となりました。

業務純益は、前年同期比2億61百万円増益の18億58百万円となりました。

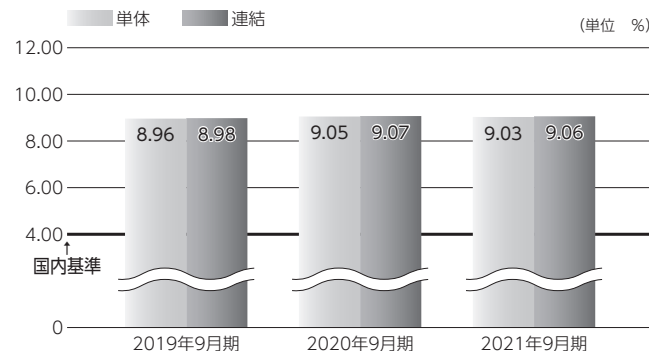
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、有価証券関係損益が減少したものの、コア業務純益の増加や不良債権処理額の減少などにより、前年同期比1億70百万円増益の19億36百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比88百万円増益の13億51百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が9.03%、連結が9.06%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。